



そごう・西武
環境・社会貢献
の取り組み
2012-2013





アカチャンホンポ

イトーヨーカドー



SEIBU SOGO



セブン銀行

ヨークベニマル



グループ会社

(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、
(株)ヨークベニマル、(株)ヨークマート、
(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、
(株)セブン・カードサービス、(株)セブンネットショッピング、
(株)オッシュマンズ・ジャパン、(株)ロフト、(株)赤ちゃん本舗、ほか



〈お問い合わせ先〉
株式会社そごう・西武 CSR推進室
〒102-0084 東京都千代田区二番町5番地25
二番町センタービル
TEL 03-6272-7409
FAX 03-6272-7129
<http://www.sogo-seibu.co.jp/>



認証番号:CO2-0009
認証取得者:(株)セブン&アイ・ホールディングス
<http://www.jcs.go.jp/>



本冊子は、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、見やすくまがえにくいユニバーサルデザインフォント、FSC認証紙を採用しています。

本冊子の制作によって排出されるCO₂を環境省基準でカーボンオフセット(相殺)し、同省の認証を取得しています。被災地産J-VERの活用により、被災地支援にもつながっています。詳しくは下記をご参照下さい。
http://www.7andi.com/others/2012_ecoprint.pdf

〈お願い〉本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域のルールでリサイクルいただけるようお願いいたします。

2012年10月発行

そごう・西武は お客さまの想いに応え続けます

お客さまの望んでいることに
たちどころに応えられるよう、
そごう・西武は
「環境」「安全・安心」
「地域・社会貢献」に
誠実に取り組んでいます。

株式会社そごう・西武

代表取締役社長
山下 國夫
売上高
8,179億円(2012年2月期)
従業員数
10,154人(2012年2月末)
店舗数
26店(2012年8月末)



グリーンラッピング



盲導犬育成支援



消防・地震訓練

「新しい今日」をつくるセブン&アイHLDGS.

グループ総売上高 約 9兆円 *	総来客数(世界) 4,800万人 ／日	店舗数(16ヶ国・地域) 48,500店	※セブン・イレブン・ジャパンの加盟店の売上、7-Eleven, Inc.のエリアフランチャイジーの売上を含む(2012年5月末現在)
----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------------------------------------

そごう・西武はセブン&アイグループの一員です

そごう・西武のお店での取り組み



お客さまとの取り組み

- ① オリジナルエコバッグの製作・販売
- ② グリーンラッピング(環境配慮包装)
- ③ 環境配慮商品の販売
- ④ 店内エコ見学会
- ⑤ 化粧ビンのリサイクル
- ⑥ 容器トレイ・ペットボトル等の回収BOX
- ⑦ 常設こども靴下取りコーナー
- ⑧ 盲導犬育成支援(募金箱・告知イベント)
- ⑨ グリーンカーテンの設置
- ⑩ トイレの擬音装置設置

従業員による取り組み

- ① コンポストによる生ごみの肥料化
- ② 納品時の段ボール削減
- ③ LED照明の導入
- ④ 屋上緑化と壁面緑化
- ⑤ エコステーション(ごみの分別とリサイクル)
- ⑥ 再生資源を利用した売場ツール
- ⑦ コピー用紙の削減
- ⑧ 階段の2up3down運動
- ⑨ 営業時間外納品
- ⑩ 定期的に店舗周辺の地域清掃を実施

(株)そごう・西武の環境マネジメントシステム

ISO14001にもとづいたシステム

1999年、西武全店で百貨店業界初のISO14001を取得。2011年にはそごう全店も取得しました。そごう・西武は、着実で持続的な環境活動を実施するために、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001にもとづいたシステムを導入しています。トップマネジメントである社長が宣言した環境方針の達成に向け、各サイト(店舗、本部など)がそれぞれの環境委員会を組織。Plan(目標・計画)→Do(実施と運用)→Check(実施結果の監視と測定)→Act(是正処置、見直し)の「PDCAサイクル」に沿って常にレベルアップしていくことを目指しています。

そごう・西武 環境方針

〈基本理念〉

私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組みます。

〈行動指針〉

1. 私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めます。
2. ①環境に配慮した品揃えやイベント、セミナーなどを通じたお客さまとのコミュニケーション強化
②社会貢献活動などを通じた地域、社会とのコミュニケーション強化
③地球温暖化対策や廃棄物の削減、リサイクルの推進などによる環境負荷の低減と環境保全の推進
④環境教育の継続による法令順守とリスクマネジメントの徹底を活動の重点に、仕組みや手法の継続的な改善に取り組みます。
3. 従業員に対する継続的な教育と啓発活動を行い、一人ひとりが環境や社会問題に自発的に取り組むことにより、お客さまや地域社会に役立ち、信頼される企業を目指します。
4. 挑戦的な目標を設定し、一人ひとりが達成に向けた活動を実践しながら、結果の検証と改善を繰り返し、システムの向上を心がけます。

この環境方針は、従業員又は当社のために働く全ての人に周知されるとともに、一般の方々にも公開します。

2009年8月1日

株式会社そごう・西武 代表取締役社長
山下 國夫

そごう・西武の環境活動を支える「4つの柱」



そごう・西武は、環境保全活動を企業の社会的責任と考え、重点活動項目として、「4つの柱」を念頭に活動しています。

「4つの柱」と9つの取り組み

- ① **お客さまとのコミュニケーション**
 - ・ 環境にやさしい商品やライフスタイルのご提案
 - ・ 適正包装に対するご協力をお願い
 - ・ 環境イベントなどの開催による情報発信
- ② **社会・地域とのコミュニケーション**
 - ・ 地域美化活動の推進（地域清掃、花壇整備等）
 - ・ 盲導犬育成支援、植樹・育樹、途上国支援活動
- ③ **環境負荷の低減と環境保全活動**
 - ・ 省エネ活動（節電、温度管理等）
 - ・ 循環型社会の推進（ごみのリサイクル率向上等）
 - ・ 省資源活動（節水、コピー用紙使用量削減等）
- ④ **順法とリスクマネジメント**
 - ・ 委員会設置等によるリスク管理強化

そごう・西武の環境活動に対する評価



環境経営度調査

2012年1月に発表された日本経済新聞による「第15回環境経営度調査」の中で、企業ランキング(小売・外食部門)において、そごう・西武は第1位をいただきました。

千代田区環境フェスタ2012

2012年2月に千代田区温暖化配慮行動計画書制度で、「環境教育部門賞」をいただきました。



2011年度の環境負荷低減実績



CO₂排出量

173,868t

(前年より32,605tの削減)

東京ドーム658個分の森林が1年間に吸収できる量の削減(森林のCO₂吸収量10.6t/haとして)

店舗での電気使用量

376GWh

(前年より68GWhの削減)

一般家庭の約19,500軒分の削減(一般家庭1世帯の年間使用電力=3.48MWhとして)

店舗での水使用量

3,496千m³

(前年より212千m³の削減)

50mプール85杯分の削減(プール=長さ50m×幅25m×深さ2mとして)

容器包装使用量

1,675t

(前年より45tの削減)

廃棄物量/リサイクル率

32,749t

61.2%

(前年より648t削減/リサイクル率3.5%アップ*)

食品廃棄物のリサイクル率

51.2%

(前年より8.5%アップ*)

※廃棄物量・リサイクル率の前年比較は、ロビンソンを除く西武とそごうの合計値



法人外商部のエコプロモーション

百貨店としての幅広い商材の取り扱い、
ノウハウやネットワークを活かして、
お客さまに最適なソリューションを
ご提供いたします。

そごう・西武には、店頭での販売サービスのほかに、企業団体さまのニーズにお応えする「法人外商部」があります。

百貨店事業の中で培った環境対策のノウハウをもとに、企業団体さまに「環境に配慮した商品」「リサイクル商品」の開発・販売や「ユニフォームのリサイクルシステムの構築」などのご提案を行っています。

環境に配慮した商品の考え方

原材料や生産工程が低負荷であるもの

低負荷の原料、化学処理の省略など

再生素材を使用しているもの

古紙混入50%以上、
再生プラスチック混入40%以上など

再生可能な商品であるもの

複合素材から単一素材へ変更したものなど

省資源・省エネ商品であるもの

商品・パッケージに廃材や間伐材を使用、
商品自体に省資源・省エネ効果があるなど

環境保全を促進するもの

水質・大気・土壌保全の効果があるものなど

環境負荷に関する表示のあるもの

エコマーク表示があるものなど

環境保全に積極的な企業により製造された
製品であるもの

ISO14001認証取得企業、
環境保護基金への参加企業など

エコ商品による セールスプロモーション

エコバッグなどの「エコ」をテーマとした商品や、製造段階で環境負荷を軽減した商品、カーボンオフセット商品など、環境に配慮した商品提案を行い、企業団体さまのイメージ向上に寄与しています。



環境に配慮し、原材料にベジタブルインクを使用したカレンダー

ユニフォームの エコロジ化

企業団体さまへは、ユニフォームの素材選びなど生産段階での環境配慮だけでなく、廃棄後の再利用方法まで含めた、トータルな環境負荷を考慮したご提案をしています。



制服着用終了後は、生地・部材をケミカルリサイクルし、再生利用します

包材・資材からの エコロジー

製品に使用するギフトパッケージなどの包材・資材を、環境にやさしく低コストの素材へ切り替えるなど、使用素材の見直しや軽量化のご提案をしています。



間伐材などを使用し、環境に配慮した包材・資材のご提案

このほか、お客さまの直面するさまざまな環境課題に対し、トータルな解決策をご提案させていただきます。

〈お問い合わせ先〉

株式会社そごう・西武

法人外商部 企画立案担当

TEL 03(6272)7522

FAX 03(6272)7983

法人外商部HP

<http://www.sogo-seibu.co.jp/gaisho/>

さまざまなエコの取り組み

オリジナル エコロジーバッグの販売

そごう・西武では、スマートラッピングの一環として、2000年からペットボトルのリサイクルから生まれる再生ポリエステルを使い、「ファッショナブルなエコバッグ」をコンセプトにした、オリジナルエコロジーバッグを販売しています。今後もお客さまのご協力のもと、レジ袋、手提げ袋の削減を目指していきます。



ギフトパッケージとして使える「ラッピングエコバッグ」

食品リサイクルの 取り組み

廃棄物の削減と循環型社会を目指して、西武池袋本店と西武秋田店では、生ごみ処理機を導入しています。店内で発生した生ごみを肥料化し、近隣農家にご提供。その肥料を使って生産された農産物を店頭で販売する、資源循環型システムを推進しています。



西武池袋本店は7台の生ごみ処理機でコンポスト(有機肥料)化

食品リサイクルの仕組み



「打ち水大作戦」を 各店で実施

そごう・西武では、毎年夏に「打ち水大作戦」を開催しています。各店ごとに趣向を凝らし、お客さまや地域の方々にご協力いただきながら実施しており、地域の恒例行事となりつつあります。打ち水前と後での温度差も発表することで、その効果を参加していただいた皆さまにご確認いただいています。



そごう徳島店では「打ち水大作戦」を近隣企業とともに開催

「地産地消」を 各店で推進

「地域との共生」を目指すそごう・西武は、店舗ごとに「地産地消」を推進しています。新鮮な地場野菜などを販売する朝市や地場産品コーナーを設置し、地場産の食材を使用した惣菜やパンを販売。レストランでは、地元食材を使ったメニューでフェアを開催しています。



そごう横浜店では、県や市とともに地場産品を紹介・販売

【そごう広島店】屋上を「天空のひろば」として活用



そごう広島店屋上「天空のひろば」では、「環境／アート／スポーツ」をテーマに、地元の官・民・学+NPOが協力。野菜作り体験ができる「農園」、クリエイターや学生に芸術作品発表の場として開放する「ギャラリー」など、「街の屋上」を目指したさまざまな試みを行っています。



地元幼稚園のお子さまによるサツマイモ植え

【そごう神戸店】チャリティグッズ販売



「神戸ファッションウィーク」のPR用に使われた旗を素材に、かばんやポーチなどにリメイクした商品を販売。「おしゃれとエコ」をテーマに、神戸の人気キャラクター「コーベアー」と地元の名所をあしらいました。収益金の一部は神戸新聞厚生事業団を通じて、国連児童基金(ユニセフ)に寄付されました。



母娘で楽しめるキュートなデザイン

小学生の職場体験



そごう・西武の各店では、地元の小学生を対象にした職場体験を実施しています。使用電力の監視や省エネを推進する「エコ係長」、「子ども一日インフォメーションガール」や「一日パン屋」など、将来なりたい職業をプチ体験するお手伝いをします。



「一日インフォメーションガール」(そごう横浜店)

三宅島緑化プロジェクト



三宅島では、噴火や火山ガスで大きな被害を受けた森林の復元が遅れ、農業、漁業、観光産業に大きな影響が出ています。毎年、セブン-イレブン記念財団の呼びかけに応え、グループの社員が植樹を行っています。過去7回の合計植樹本数は21,000本となりました。(2012年8月現在)



植樹後の記念撮影

環境コミュニケーション

環境省との取り組み

節電の呼びかけ

そごう神戸店で、(一社)環境ビジネスウィメン、環境省の共催による「SUPER COOL BIZ 2012 in 関西」を開催しました。今夏、特に電力不足が懸念される関西地区の節電意識を醸成するためのキックオフイベントで、小池百合子元環境大臣や井戸敏三兵庫県知事、矢田立郎神戸市長、NMB48山本彩さんと渡辺美優紀さん、お笑いタレントの浅越ゴエさんほか、多数のゲストも登場。「今日から使える節電ワザ! ~百貨店で買える節電グッズをサイエンスする~」をテーマとするトークショーや、「SUPER COOL BIZファッションショー」で盛り上がりました。



ゴエ氏の軽妙なトークで和やかにわかりやすく節電ワザを説明



地元企業9社がファッションショーに参加し節電を呼びかけ

グリーンカーテン

そごう・西武は、環境省とともに、CO₂削減や夏の節電対策として、グリーンカーテンを推進しています。正面玄関や屋上などでグリーンカーテンを育て、お客さまや地域の方々にその良さや涼しさを紹介。また、環境省が作成した絵本「グリーンカーテン大作戦」をお子さまにお渡しし、興味や知識を持っていただく活動を推進しています。



環境省のグリーンカーテンフォトコンテスト募集もあわせて告知

日本百貨店協会との取り組み

そごう・西武では、日本百貨店協会とともに、環境活動や社会貢献活動を推進しています。

スマートラッピングのお勧め

マイバッグ運動や簡易包装など、適正包装をお勧めしています。また、夏には日本百貨店協会製作の「スマート・クール・バッグ」を販売しました。



売上金の一部は復興支援として岩手・宮城・福島のごども基金に寄付

節電への取り組み

加盟各百貨店とともに、魚類学者でタレントのさかなクンさんや気象予報士の根本美緒さんが呼びかける、冷房温度の緩和や節電のお願いを店内で放送しました。また、ネオンの消灯により電力消費を削減する「ライトダウン」も推進しています。



さかなクンさんと根本美緒さんが店内放送を通じてお客さまに節電を呼びかけ



安全・安心なお店づくり

「人」で、「設備」で、「サービス」で、さらに「人にやさしいお店」を目指しています。

お客さまのご意見・ご要望をうかがいながら、設備だけでなく、サービスや商品でも「安全・安心なお店づくり」に取り組んでいます。

防犯・防災への取り組み

各店舗に「防犯防災対策委員会」を設置し、定期的に消防・地震訓練を実施しています。

2008年より「緊急地震速報」による自動放送に基づく活動として地震発生時を想定した帰宅困難者対策訓練を行っています。2012年2月には西武池袋本店で、東京都による初の大規模な帰宅困難者対策訓練を実施しました。また、各店においても地域防犯パトロールを実施するなど、地域と連携した防犯・防災対策も行っています。



西武池袋本店は「総合防災訓練」として東京都による初の大規模な帰宅困難者対策訓練に参加

お体の不自由な方を的確にサポートする「ハートフルアドバイザー」

「ハートフルアドバイザー」とは、お体の不自由なお客さまを的確にサポートする認定技能資格を持ったスタッフのことで、ご来店いただいたすべてのお客さまに安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、お手伝いをさせていたがっています。(2011年度時点で885名のスタッフがこの資格を取得)



知識だけでなく模擬体験をすることで、よりお客さまの立場に立ったお手伝いを目指す

お客さまの個人情報の保護

個人情報保護法に則った社内ルール「7つの禁則事項」を全従業員に徹底し、個人情報の重要性を認識させるとともに、定期的に自主点検を行うなど、お客さまの個人情報保護の体制を整備しています。



カードや伝票の個人情報の保護も徹底

品質管理と安全・安心な 商品提供への取り組み

食品では、事故を未然に防止するため、全国の主要製造工場の点検を実施。また、店長などの店幹部が「食品衛生アドバイザー」資格を取得し、現場点検を行っています。衣料品・雑貨では、バイヤーをはじめ店舗従業員の体系的な研修を実施。さらに、第三者専門機関に店頭商品の管理状況点検を依頼し、日々改善に努めています。



「食品衛生アドバイザー」として
現場点検

「オーガニックコットン」を 使用した製品の販売

地球環境にやさしい商品として、自社ブランド「リミテッド エディション」のベビーウェアでは、オーガニックコットンを採用し、販売。原材料の産地から製品が並ぶまでの流通履歴（トレーサビリティ）が明確な素材を使い、信頼性のある製品をご提供しています。



オーガニックコットンのベビーウェア



初めてのママの悩みを専門スタッフが解決！ 「プレママステーション」「プレママカウンター」

助産師が常駐する「プレママステーション」に加え、定期的に助産師をはじめとする専門スタッフに相談できる「プレママカウンター」の設置を推進しています。出産準備から育児までの、「何を準備したらいいかわからない」「育児について、周りに相談できる人がいない」そんな初めてのママならではの不安や悩みに、専門スタッフがアドバイスします。また、親子で楽しめる定例講座も開催しています。



助産師が常駐する「プレママステーション」

(左から)西武池袋本店 6階 ベビー用品売場、そごう横浜店 8階 ベビー用品売場、そごう千葉店 6階 ベビー用品売場



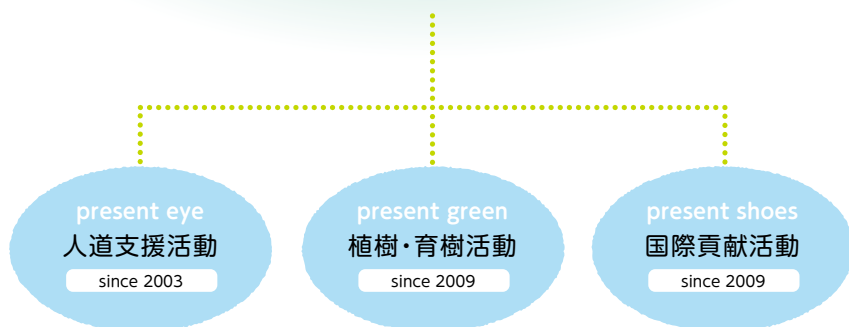
地域・社会貢献活動

私たちは、
お客さま一人ひとりの「やさしさ」の
つなぎ手として、笑顔と笑顔の
絆づくりを目指しています。

私たちは、“みんなのやさしさ、つなぎたい。”という想いをもとに、「人道支援活動」「植樹・育樹活動」「国際貢献活動」を3つの柱とし、お客さまの想いをお届けする社会貢献活動を推進しています。また、私たち従業員一人ひとりも、地域、社会の一員であることを自覚し、社会的責任を果たす企業として、取り組みを進めています。

みんなのやさしさ、つなぎたい。

お客さまのやさしさを「地球」へ「人」へ、
そしてその「喜びの笑顔」をお客さまへ
笑顔と笑顔を「やさしさ」という絆でつなぎたい





人道支援活動 盲導犬育成事業支援

店頭募金活動

そごう・西武では、「人道支援活動」として、「盲導犬育成事業」の支援活動を推進しています。活動の一環として、全店に募金箱を設置し、お客さまへ募金の協力をお願いしています。お客さまからお預かりした2011年度までの募金総額は、全店で2億394万8千21円になりました。



店頭に設置している盲導犬型募金箱

ふれあいキャンペーン

全店で、春と秋の年2回「盲導犬ふれあいキャンペーン」を開催しています。訓練士のデモンストレーションや盲導犬PR犬との体験歩行を通じて、視覚に障がいのある方と盲導犬に対する理解を深めていただき、育成事業へのご支援を呼びかけています。



そごう横浜店でのふれあいキャンペーン

社員による支援活動

社内でも支援活動を推進するために、会社と労働組合で「そごう・西武基金」を設立。社員が任意で毎月積み立てている「ワン!コイン倶楽部」からの募金も組み入れ、全国の盲導犬支援団体に寄付しています。2011年度までの募金総額は、1億4千万円になりました。



日本盲導犬協会では、募金の一部で搬送用自動車を購入

VOICE

パートナーとして今後も応援を

私たちは、安全で快適な歩行を提供すると同時に、視覚に障がいのある方々への正しい理解を啓発することにより、彼らが暮らしやすい社会をつくっていくことが重要な使命と考えます。そごう・西武さまは、「盲導犬ふれあいキャンペーン」を通じて、多くの市民の皆さまへ語りかける場を提供していただける大切なパートナーです。今後も盲導犬を応援してください。

公益財団法人日本盲導犬協会
神奈川訓練センター センター長

高野 秀一 様





植樹・育樹活動 未来の森をつくる活動

「Present Tree(プレゼントツリー)」との提携

「プレゼントツリー」は、市民参加型の森林再生プロジェクトです。寄付を通じて、再生を必要とする国内外の森林の整備を、地域と協働で実施しています。そごう・西武では、ギフトを通じてお客さま参加型の植樹活動を推進しています。



「プレゼントツリー」による森林再生プロジェクト

グリーンラッピング

ギフトをご注文の際、「地球環境を考える」というメッセージもあわせて贈ることのできる社会貢献参加型の「グリーンラッピング」をご提案しています。リーフマスコット付リボンを100円(税込)でご購入いただき、1件につき50円を「プレゼントツリー」に寄付する仕組みです。



80件の寄付が1本の植樹につながるグリーンラッピング

簡易包装へのご協力お願い

お客さまの「環境への思いやり=簡易包装」が森の樹を育てます。お中元、お歳暮を贈られる際に、簡易包装へのご協力をお願いしています。お客さまにご協力いただきました、簡易包装4,000個に対して1本の苗木を、「プレゼントツリー」を通じて植樹し、育てます。



お中元、お歳暮ギフトでお願いしている簡易包装

VOICE

活動により増えている「未来の森」

「Present Tree(プレゼントツリー)」の「プレゼント」には、「地域」や「未来の地球」への贈り物という意味がこめられています。そごう・西武での皆さまのショッピングを通じて、おかげさまで今までに約1haの日本の森が再生されました。皆さまのエコアクションが着実に「未来の森」を増やしていることに、心からお礼申し上げますとともに、これからもどうぞよろしく願いいたします。

認定NPO法人 環境リレーションズ研究所理事長 鈴木 敦子 様





国際貢献活動 途上国物資支援活動

アフリカ途上国の実情

世界の途上国でも、とりわけアフリカサハラ以南では、水不足、食糧難、病気の蔓延など、多くの深刻な問題を抱えています。そごう・西武では、国際協力NGOジョイセフと連携し、ザンビア共和国での支援に力を入れています。



裸足による怪我で破傷風にならないよう、こども靴を配るジョイセフスタッフ

靴がもたらす母子の笑顔

ジョイセフが活動する地域の一つ、コッパーベルト州マサイティ郡は、寄生虫の感染率が高い地域でもあります。その原因は、裸足での生活。子どもたちに靴を届けることで、寄生虫病や破傷風のリスクをなくすだけでなく、母子に健康の大切さを伝えることもできます。



こども靴の配布時にあわせて、健康教育も実施

「こども靴下取りコーナー」を常設

全店に「こども靴下取りコーナー」を常設し、ジョイセフが実施するザンビアの子どもたちに靴を贈るプロジェクトに取り組んでいます。お客さまからご不要になったこども靴をお預かりする活動で、靴は2012年7月時点で26万4千143足になりました。

靴は日本を出て、約半年でザンビアの子どもたちに届きます



VOICE

寄贈された靴で子どもたちが健康に

「子どもたちが、靴を履く前に足を洗っている」という嬉しい報告がザンビアから届きました。今まで泥だらけの手足でも平気でいたのに、「靴」を履くことで行動が変わってきました。どんなに「手足を清潔にしてください」と言っても、履く靴がなければ誰も気かけません。リサイクルの靴を活用した健康教育の効果が少しずつ現れてきたようです。皆さまの温かいご支援を引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人 ジョイセフ代表理事 石井 澄江 様





東日本大震災 復興支援活動

チャリティリボン

東日本大震災から1年を迎え、キャリア女性を支援する企画の一環として、世界のファッションブランドを陰で支える、日本の服飾素材メーカー「SINDO」とのコラボレーションで作成したチャリティリボンを販売。収益金は全額、公益財団法人ジョイセフを通じて東日本大震災で被災された妊産婦や新生児、女性の支援のために寄付しました。



1つ315円(税込)「SINDO」のチャリティリボン

福島県飯舘村の衣料・雑貨販売会を支援

そごう柏店では、今もなお仮設住宅で暮らす福島県飯舘村のお年寄りが、全国から寄贈された着物をリメイクしたり、そのハギレでつくった小物などを販売する会場を提供し、デザインアドバイスや宣伝、販売協力を行いました。



衣料品や雑貨とともに、飯舘村の写真も展示

東北コットンプロジェクト

「東北コットンプロジェクト」は、津波により稲作などが困難になった農地で綿(コットン)を栽培し、紡績から商品化・販売を参加各社が共同で展開することにより、安定的な雇用を生み出そうとするもので、農業から震災復興を目指します。そごう・西武も支援企業としてこの取り組みに参加しています。



塩害に強い綿花で「東北コットン」ブランドを立ち上げ安定的支援を実施

被災地復興支援キャンペーン

2011年10月1日から「2011全国百貨店復興アクション—東日本の未来・子ども達を、応援します」という統一スローガンの下、日本百貨店協会とともに、東日本大震災の被災地復興支援キャンペーンを実施。ハローキティのチャリティストラップを販売した売上全額を、東日本大震災で被災した岩手県・宮城県・福島県の子どもたちのために寄付しました。



ハローキティのチャリティストラップを販売